

県育成いちご品種「まりひめ」。糖度が高くコクがあり、
ジューシーな果汁が口中いっぱい広がる。

「まりひめ」(イチゴ)

○特 徴：

鮮やかな紅色のいちご。早生で大果が特徴の「あきひめ章姫」と濃厚な食味が売りの「さちのか」との交配により得られた品種。

「さちのか」に比べて早生で多収。ビタミンC、食物繊維がたっぷり入っている。



○食べ方：

12月から2月頃が最も美味しい。そのまま生果で食べるのが一番。ヘタ周りを先に食べるのが通の食べ方。

牛乳と混ぜていちごミルクにしたり、ケーキとの相性が抜群。



○来 歴：

平成20年3月に和歌山県で品種登録。紀州伝統工芸品「紀州てまり」にちなみ、可愛らしく皆に愛されるように「まりひめ」と命名。本格的な栽培は平成22年より始まり、栽培面積は年々増加傾向にある。

○ 旬 ：12月上旬～2月下旬

○産 地：紀の川市、岩出市

○生産量：110 t (H24年度)

○問い合わせ先：JA紀の里めっけもん広場 (代表0736-78-3715)
：JA紀の里OINACITY (代表0736-62-8313)

○出荷期間：11月下旬～5月下旬

○販売単位：300g/パック、1.2kg/箱